

一般質問通告一覧

1	矢口 輝美	1 流山市こども計画の推進と、こどもの意見表明を支える庁内文化づくりについて 2 特別支援学校通学児の放課後支援と相談支援体制の充実について 3 こども家庭センターを中心とした早期支援体制の構築について 4 民生委員・児童委員活動のデジタル化とタブレット導入について
2	岡 明彦	1 「朝の小」の壁について 2 音声字幕表示システムの導入について 3 本市の高齢者支援について
3	近藤 みほ	1 教育的意義に基づく校則の見直しと、市としての基本姿勢について 2 課題提示型補助金の導入に向けた試行について
4	笠原 久恵	1 流山都市計画事業運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の事業計画変更について
5	青野 直	1 市民の健康づくりについて 2 市民生活を守るための施策の充実について 3 誰もが自分らしく暮らせるまちづくりについて 4 流山本町へのグリーンズローモビリティ導入について
6	森田 洋一	1 令和8年度予算編成方針について 2 中学生の英語学習について 3 訪日外国人向けの観光施策について
7	渡辺 仁二	1 令和8年4月1日施行の道路交通法改正を踏まえた流山市における自転車交通安全対策について 2 流山市消防団について
8	中川 弘	1 株式会社流山ツーリズムデザインに対する令和8年度の予算を含む対応について 2 令和8年度予算編成について
9	小沢 えみり	1 自治会加入につながる環境づくりについて 2 不登校支援について 3 教育内容の充実について 4 通学路の安全対策について
10	おだぎり たかし	1 来年度予算編成について
11	戸辺 滋	1 ひきこもり支援の更なる充実について 2 教育現場におけるデジタル化の課題について
12	川本 大岳	1 交通政策と高齢者等の移動支援について 2 路上喫煙防止対策について
13	高橋 あきら	1 市長の政治姿勢について 2 市民の命と健康を守る取組について 3 環境行政について 4 東部地域のまちづくりについて
14	乾 えり	1 上下水道のあり方について 2 教育行政について 3 南部地域のまちづくりについて
15	坂巻 儀一	1 北部地域における事業の進捗状況と今後の課題について 2 政府が掲げる外国人施策を踏まえ、自治体として先行的に取り組むべき事項について
16	海老原 功一	1 令和5年度に行われた行政代執行について
17	鈴木 ゆうすけ	1 流山市上下水道事業について 2 流山市の財政計画・構想及び流山市土地開発公社について 3 学校に通うことが難しい児童・生徒のための、流山市独自のフリースクール費用助成事業策定の必要性について
18	西尾 段	1 消防行政について 2 小中学校部活動の大会補助について 3 小中学校のインターネット環境整備について
19	うた 桜子	1 学校における多様性への配慮の扱いについて 2 不登校・引きこもり支援について 3 こどもまんなか社会やこどもの権利の認識について
20	中村 彰男	1 公園施設の一部有料化について 2 流山市における下水道の維持管理について
21	清水 大	1 国民健康保険について 2 生活保護について 3 神話教育について
22	阿部 治正	1 市の商工・労働政策について 2 自治体デジタル・トランスフォーメーションとサイバーセキュリティについて



NTDに対する  
令和8年度の予算について  
自由民主党 中川 弘

**問** ①同社の令和7年度決算見込みは。②流山版DMO推進事業補助金・負担金は継続するのか。③指定管理者は随意契約でなく公募すべきでは。④巨額の赤字となつている流山万華鏡ギャラリー&ミュージアムの委託の在り方を見直すべきでは。

**答** 副市長 ①今期の営業利益目標は3千万円であり、目標に向け努力していると報告を受けています。②NTDは財政状況が改善したばかりであり、当面は補助金が必要と考えています。また、DMOとして地域事業者との協働などが可能と報告を受けており、令和8年度予算には負担金は計上しない予定です。③一茶双樹記念館と杜のアトリエ黎明の指定管理者選定を公募で行ったため、次回の白みりんミュージアムの指定管理者選定は公募が原則と考えます。④業務委託の仕様書を見直し、価格の正当性を確認しました。今後さらに整理を進め、本市と物件所有者のNTDとで賃貸借契約を結び、業務委託と別契約とする予定です。



自治会加入につながる  
環境づくりについて  
流政会 小沢 えみり

**問** 自治会の存在や役割、活動内容を十分に知らない状態で加入しない、または退会に至る市民も少なくないと考えます。松戸市や高松市のように自治会活動を分かりやすく紹介するリーフレットなどに取りやすい啓発物の作成を検討してはどうか。

**答** 市民生活部長 本市では、現在チラシの配布を行っています。議員ご提案のように、従来のチラシのようなものではなく、手に取りやすく分かりやすいリーフレット型などの啓発物を作成することは、自治会が実際に持っている活動を多くの方に知ってもらうために有効な手段であると考えます。自治会活動をあまり知らない、関心がない市民にとっても、手に取りやすく読みやすく、分かりやすい内容で作成を進めてまいります。



自治会の願いに応え  
制度拡充を  
日本共産党 おだぎり たかし

**問** ①自治会等交付金の制度などはいつから見直されていないのか。②単価を引き上げるべきでは。③現単価の220円に30円プラスした場合の経費は。④防犯カメラの市への移管は実現するのか。⑤自治会館建て替え補助額を増額すべきでは。

**答** 市民生活部長 ①現在の金額に改正されたのは、平成22年度です。②金額は自治会の自主性や自律性を損なわない範囲としており、金額の見直し予定はありませんが、自治会等交付金は行政文書などの回覧や配布、環境の衛生と美化に関する協力などの取り組みを行う自治会へ交付しているため、文書配布回数や全戸配布文書の削減で自治会の負担軽減に努めます。③177万円です。④決算審査特別委員会で、令和8年度の予算編成の中で検討すると答弁したとおり、現在は予算編成中のためその中で検討していきます。⑤金額の見直し予定はありませんが、大規模改修を補助対象に加えるため、制度の改正作業を進めています。



教育現場における  
デジタル化の課題について  
公明党 戸辺 滋

**問** ①タブレットを活用した学習について、視力低下や集中力の欠如などを訴える児童生徒に対し、どのような配慮がなされているのか。②タブレットの持ち帰りは、小学校低学年の児童には大きな負担が伴うものと考えますが、当局の見解を問う。

**答** 教育長 ①市教育委員会では、児童生徒や家庭向けに流山市タブレット活用ルールを配付し、健康のための指導を行っています。視力低下についてご相談いただくことがあります。対象児童生徒の状況や家庭でのタブレットの利用状況などを確認し、使い方や持ち帰り方について個別に対応しています。②タブレットの持ち帰りは重いとの声が保護者から多く寄せられます。学校に置いて帰ることも可能であるため、まずは学校にご相談ください。各校には、身体への負担を考慮するよう指導・助言しています。心身の不調を訴える児童生徒がいる場合は、保護者と情報共有を図りながら、個々に寄り添ったサポートをしています。

用語解説

NTD…株式会社流山ツーリズムデザイン (Nagareyama Tourism Design) の略。流山版DMOとして、流山本町と利根運河の両地区を重点地区に観光地域づくり事業を実施。出資者には、地元企業や関連法人、団体などが名を連ね、流山市も資本50%以上を出資している。